

介護職員等処遇改善加算の職場環境等要件

区分	内容	取り組み
入職促進に向けた取組	③他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）	中高年齢者を多く採用している。また他業種からの転職者も採用している。
	④職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	中学生・高校生の職場体験や実習生の受入れ、初任者研修開催
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	⑤働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	認知症介護実践者研修や介護福祉士資格取得への支援（シフト、交通費など）、合格者への褒賞金の支払い
	⑧上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	管理者と全職員の面談を半年に1回程度行う。
両立支援・多様な働き方の推進	⑩職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	育休から復帰する常勤職員が時短勤務を選択できるようにする。
	⑪有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標（例えば、1週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得）を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている	年間必ず5日以上取得するように周知した上で、取得状況を事務局で随時確認して書面や声掛けにより促している。
腰痛を含む心身の健康管理	⑭短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	非常勤職員にも健康診断とインフルエンザ予防接種の費用を2,000円補助
	⑮介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	現任者研修で、身体の負担軽減のための介護技術の修得・腰痛対策の研修を行う。
生産性向上のための取組	⑱現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	ミーティング時に現場の課題の見える化を実施し、改善を図る。
	⑲5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている	ミーティング時に5S活動について話し合う時間を設けて、職場環境の整備を進める。
	⑳介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	おぶちゃん連絡帳や介舟ソフトを使って記録・請求業務の負担軽減を図り、情報共有を進める。
やりがい・働きがいの醸成	㉕ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	毎月1回ミーティングを開催して、管理者会議や委員会の内容を共有し、課題や改善点について話し合う。
	㉖地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	毎月コミュニティカフェ（認知症カフェ）を開催し、地域の方々と交流する。